

きんたかやま

# 金鷹山

令和3年(2021)9月1日発刊

## 通卷第12号

発行所 若宮八幡社社務所  
〒873-0004  
大分県杵築市大字宮司336番地  
発行者 宮司 紀田兼宣  
電話 080(5503)3488

[金鷹山 若宮八幡社](#) [検索](#)

神社公式ホームページ開設しております。御覧ください。

祝祭日には国旗を掲揚致しましょう



令和元年の若宮楽

**祭事の  
予告**

**九月十二日(土)  
午後二時  
仲秋祭**

親神様であります京都男山に鎮座される石清水八幡宮の例祭(勅祭)を寿ぐと共に、秋の穏り多きことと感染症の一日も早い収束を若宮八幡社の神様にお願い申し上げます。

この日のために、北杵築地区と宮司区の子供さんが一所懸命に練習を行いました。  
若宮樂は感染症の対策を講じて行いますが、拝観される場合はマスクの着用をお願いします。また、社会的距離(ソーシャルディスタンス)を保ちながら拝観ください。当日、37.5度以上の体温の方は来社をお控え下さい。

**若宮樂の奉納(大分県無形民俗文化財)**



奉納後の集合写真





新嘗祭に奉献された秋の収穫

# 勤労感謝の日 新嘗祭を斎行

皆様方からのご奉獻をお待ち申し上げております

今年も秋の収穫を寿ぎ奉る「新嘗祭」が近づいて参りました。

三日の勤労感謝の日に全国の神社で斎行される神事ですが、特に令和元年は、御代替り初めての新嘗祭として『大嘗祭奉祝祭』が、十一月十四日に斎行されました。(大嘗祭は、決まりごとにより

十一月の二番目の卯の日に斎行することとされております)

この新嘗祭に対比する神事が、四月六日に斎行された『祈年祭』で、この春祭りで秋の稔り多きことを神様にお願いして、そのお願いが実り無事にたくさんの秋の収穫が戴けたことに神様に感謝申し上げるのが新嘗祭とな

ります。

この新嘗祭を寿ぐ意味で、若宮八幡社では、氏子の皆様

方からの秋の収穫物の奉納を承っております。

奉納を承ります内容としては、①お米 ②野菜 ③果物 ④お酒 ⑤その他です。

①お米は、写真のように、袋に入れて奉獻させて戴き

ます  
②野菜は、新嘗祭前日(十一月二十日)若しくは新嘗祭当日に持参下さい

③果物も野菜と同じです  
④お酒は、壺升から承ります  
他の飲み物として、焼酎やジユースなども承ります

⑤その他として、例えば写真のように『菊花』でも結構です。また懸税(かけち

り)も承ります  
尚、ご奉納戴きました収穫物は、神前に奉納申し上げ、適宜参詣者に少しお頒ち致しますことをご了承下さい。

名は、令和四年四月一日に刊行します社報『金鷹山』第十四号にてご報告致します。  
尚、ご奉納戴きました収穫物は、神前に奉納申し上げ、適宜参詣者に少しお頒ち致しますことをご了承下さい。



菊花の奉納も承ります

## 七五三詣祈願を承ります

感染症対策のため、完全予約入替え方式にて

### ○祈願料 五千円也

二人目:三千円(計八千円)  
三人目:一千円(計一万円)

○お下がり  
・七五三の神札(お子様の名前を揮毫します)

・七五三お守り  
・朝御饌祭のお米(撒下米)  
・千歳飴(紅白セット)  
・七五三矢

・オリジナルの神社トランプ  
・特製の玩具  
・お菓子の詰め合わせ  
・日本の神話おみくじ  
・神様の愛情

※一緒に参りされるご兄弟(姉妹)にもお菓子の詰め合せをお渡しします

※毎日、三〇分ごとの完全入替え方式ですので、お早目のご予約をお願いします

○承り期間 十月上旬まで  
【七五三詣 承りについて】  
当社で祈願される場合は、ご家族のみで三密を避けて、心穏やかにお参り戴けます。  
また七五三詣に併せて、車の交通安全・無病息災・悪疫退散・開運招福・心願成就などの諸祈願も承りますので、お申込みをお待ちしております。

○承り期間 十月上旬まで  
【七五三詣 承りについて】  
当社で祈願される場合は、ご家族のみで三密を避けて、心穏やかにお参り戴けます。  
また七五三詣に併せて、車の交通安全・無病息災・悪疫退散・開運招福・心願成就などの諸祈願も承りますので、お申込みをお待ちしております。



オリジナル神社トランプ



七歳・五歳・三歳



税金の語源である懸税(かけちから)

**[奉納の照会先]**  
若宮八幡社社務所  
0978(62)3148

承り期間は、十月上旬から十一月二十三日(火)勤労感謝の日まで承ります。

(但し、野菜と果物は新嘗祭の前日と当日のみと致します)

ら十一月二十三日(火)勤労感謝の日まで承ります。



参道石畳に立つ斗初穂芳名板



拝殿庇の修復状況

永年の風雨の為、社殿の傷みが酷くなつてきました。写真のようすに拝殿の屋根をこの度行うに当たり、神社の自己資金のみでは覚束ないため、皆様方のご寄進を広く承ります。

### ●募金額

三千円を一口としてお納めください。（複数口でのご寄付をお願いします）

十口（3万円）以上の方は、「斗初穂完納」として、お名前を参道の斗初穂銘板に刻み、永遠に顕彰致します。

お米（初穂）を氏子さんから壱斗（十升）を十年かけて奉納を承つております。

現在では、お米壱斗（十升）を三千円に換算して、その三千円に十年を乗じた3万円で完納としております。

この斗初穂会計は、今回の拝殿の屋根修繕はもろんのこと、来る御鎮座壱千五拾年記念事業（令和十七年度予定）に向けての特別な出費のために有効活用させて戴くものであります。

斗初穂（3万円）を完納された方には、ご案内申し上

芳名につきましては、社報『金鷹山』で随時掲載の上、ご報告申し上げます。

### 【斗初穂 とは？】

若宮八幡社では、昔から壱斗（十升）を十年かけて奉納を承つております。

①十年間で完納する方法  
②複数年で完納する方法  
③一括で完納する方法

の3種類があります。

げ、十二月の例大祭にてご報告申し上げております。

この斗初穂奉納は、皆様のお越しをお待ちしております。

奏楽して神様の御心をお慰め申し上げる神事です。

現在、6名の方が雅楽（龍笛）をお稽古されておりま

すが、これからも一緒にお

稽古される方を募ります。

【雅楽の稽古】

①龍笛をお稽古します  
②毎月2回のお稽古（午後）  
③お稽古料は無料ですが、初回時のみ笛・譜面代をお納め下さい

斗初穂奉納のお願いについて 神社修繕のために寄付を募ります

五穀豊穣と悪疫退散を祈念して雅楽を奉納します 中秋の名月に観月祭を行います

十五夜の夕刻に、五穀豊穣と悪疫退散を願い、雅楽を

●観月祭（かんげつさい）  
九月二十一日（火）午後5時  
満月（中秋の名月・別名



雅楽・龍笛イメージ



雅楽練習会の模様



若宮八幡社で所蔵する雅楽器

## 若宮八幡社 県社御列格百周年記念

# 令和御大典写真 パネル展示会

11月6日(土)～23日(火・勤労感謝の日)



令和元年の「平成」から「令和」への改元と御代替りに行われた「御大典」の諸行事を写真に記録した「パネル展示会」を「県社御列格百周年」を寿ぎ、左記にて開催しますので、皆様のお越しをお待ちしております。（拝観自由・無料・予約不要）

◎展示期間  
十一月六日(土)～二十三日(火・勤労感謝の日)まで  
※期間中は、防犯のため午後五時に拝殿を閉鎖します  
◎展示場所  
若宮八幡社拝殿において  
※写真の「奉祝 天皇陛下 御即位 令和の御大典」小冊子をご用意してお待ちしております



夏越大祓・茅の輪くぐり



人形昇神祭

前号は、四月一日に刊行しましたので、八月三十一日までの神事をご報告致します。

**【朝御饌祭】**

毎朝午前6時から斎行する神事で、神様に朝ご飯を差し上げ、祝詞奏上・教育勅語・五箇條の御誓文・明治天皇御製奉読を行い、今日が杵築市民に良き一日であり、感染症が早く収束するようにお願いします。

**【朔日祭】**

毎月1日に斎行する神事で、一ヶ月に亘り穏やかでありますようにとお願いします。

**【神武天皇祭】**

昭和天皇のご誕生日を寿ぐと共に、「聖徳」を偲び奉る神事。

**●四月二十九日(木)**

昭和天皇のご誕生日を寿ぐと共に、「聖徳」を偲び奉る神事。

**【夏越大祓・人形昇神祭】**

半年間のうちに知らない間に積もり積もった罪や穢れを、「人形」に託して、身も心も綺麗にして、「大茅の輪くぐり

思うこと皆尽きねとて麻の葉を切りに切りても祓いつるかな

千早振る神の御前に祓いせば

祈ることの叶わぬは無し

次回の大祓は、大晦日(十一月三十日)に「年越大祓」として

**●六月三十日(水)**

大正天皇の誕生日を寿ぐと共に、ご聖徳を偲び奉る神事。

**●八月十五日(日)**

大正天皇の誕生日を寿ぐと

**【大正天皇祭】**

大正天皇の誕生日を寿ぐと共に、ご聖徳を偲び奉る神事。

**●八月三十日(火)**

大正天皇の誕生日を寿ぐと

**【祖靈社中元祭・御靈祭】**

祖靈社に祀られる「開運祖靈講」の先祖様また、大東亜戦争で散華された杵築市出身のご英靈をお慰め申し上げる神事。

開会式は、自分の予想としては、前回の2016年のリオデジャネイロの閉会式で、当時の安倍総理大臣がマリオに扮していた記憶があつたので、多分その引継ぎで今の菅総理大臣がルイージに扮して登場するのかと思いきや、その予想は見事に当たらなかつた。

思い返せば、数年前に時のIOC会長が『TOKIO』と言つて、東京都にオリンピックが招致されたときの感動はどうなつてしまつたのか……。その時に滝川クリステルさんが言つた『OMOTENASI・おもてなし』の精神は、折角海外から選手やメディア関係者が来日しても、その機会を失つてしまつたのは残念でならない。

余り知られていないことだが、福岡県久留米市の呉服店が発起人となり、世界各国・地域をモチーフにした着物を制作し、本来ならば表彰式などにプレゼンターがその着物をつけてメダルを授与するなどの『KIMONOプロジェクト』が、事務局(イマジンワールド)の内紛などを理由に頓座したにも関わらず、開会式には元ビートルズのジョン・レノンの名曲『イマジン』が映像と共に流されたことは、ある意味皮肉ではないかと思われてならない。

こういう時こそ日本の本来の心である『OMOIYARI』・『思いやり』の出番ではないでしょうか?

SNSは誹謗中傷の嵐が吹き荒れて、『多様性』とか『コンプライアンス』また『自由』などの言葉が独り歩きして、本来の意味から段々乖離して、何だがギスギスした日本になってしまった気がしてならない。

昔から『慮る・おもんぱかる』という良い言葉があるように、人きまが今どのようなお気持ちで居るのかという思いやりの心を以て、コロナ禍が祓い遣られた後の、日本国を更に素晴らしいものにしていこうではありませんか。

昭和三十六年にこの世に生を享け、今年で還暦を迎えることが出来たのも、関係ご各位のご薰陶と、先代(父 兼昭大人命)と、過日数え九十歳で長逝した(母美智子刀自命)のお蔭と感謝申し上げ、人生の折り返し地点に、これからも斯界また杵築市・豊の國のために恩返しをするためにも、毎日の神勤奉仕により一層の精進に務めて参る所存であります。

# 若宮八幡社の神事報告

四月一日から八月三十一日までに行われたお祭りをご報告致します。

初代神武天皇のご遺徳を偲び奉る神事。

【祈年祭(春季大祭)】

秋の稔り多きことをお願いする神事です。「御田植祭」(大分県無形民俗文化財)は、感染症のため中止となりました。

●四月六日(火)

品などの御靈抜きを厳修し、お焚き上げ申し上げました。

【昭和天皇祭】

形昇神祭を行い、飾らなくなつた「人形・鯉のぼり・結納品」などの御靈抜きを厳修し、お焚き上げ申し上げました。

『大茅の輪くぐりの和歌三首』

水無月の夏越の祓いする人は千歳の命延ぶと言うなり

神事を行いました。併せて人形昇神祭を行い、飾らなくなつた「人形・鯉のぼり・結納品」などを年間を通して承つております。

(参列自由・無料・予約不要)※但し、大茅の輪くぐり神事はありませんのでご了承下さい(夏越天祓のみ)

【後編】

宮つ

田

紀

見

事

に

當

ら

な

か

つ

た

か

な

い

う

OMOIYARI・思いやり の心で穏やかに

開幕までに糾余曲折があつた『2020東京オリンピック』に続き、間もなく『パラリンピック』も閉幕を迎えるが、連日の選手の熱き挑戦には観ていてこちらも元気を戴けます。